

会報

NEWS LETTER

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



雑がみさまを探せ! 事例集

—— 行動変容と連携で進める資源化の実践 ——



Topics

- 雑がみさまを探せ! 実施報告
- 令和8年度紙リサイクルセミナーについて



公益財団法人 古紙再生促進センター

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

目次

P2 活動報告

P2 雑がみさまを探せ!

P9 紙リサイクルセミナー 開催について

P10 センター日誌

P10 センター日誌 令和8年7月~9月分



さが 雑がみさまを探せ!

実施報告

雑がみさまを探せ! とは

雑がみさまを探せ!は、「分別してください」ではなく、「探してみよう」という発想から生まれた「行動変容」を促す啓発プログラムです。啓発チラシや啓発袋をお渡しし、身の回りにある雑がみを探し出し、回収していただきます。一人ひとりが「雑がみは資源なんだ」と気付き、分別行動を行う行動変容につなげることを目的としています。

コンセプト

家庭の中の「雑がみ」にも神様が宿っており、可燃ごみとして捨てられている「雑がみさま」を皆で探し出して、救出しようというというコンセプトです。あわせて、リサイクルできない紙類（禁忌品）をイラスト化し、雑がみの分別についての知識を深めてもらうという事業です。子ども達にも分かりやすいストーリーに沿って、分別を実施いただくことで、分別習慣の定着を目指しています。

※本事業は、大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授(仕掛学)指導の下、当センターと連携した新たな試みです。



児童に配布した啓発資料（啓発チラシ・啓発袋）

「雑がみさまを探せ!」の コンセプト

「分別してください」ではなく、「探してみよう」へ。

おうちの中にある「雑がみ」を見つけて、気づき、行動することで、未来の地球につながる小さな一歩になります。

① 見つける

おうちの中を探して、「雑がみ」を見つけます。



ポイント

身の回りには、リサイクルできる紙がたくさんあります!

② 気づく

「これも紙資源なんだ!」と気づき、もったいないをなくします。



ポイント

気づきが、ごみの減量と資源の有効活用につながります。

③ 行動する

家族で集めて、分別します。小さな行動が、資源につながります。



ポイント

分別はみんなの力で。資源を未来につなぐ大切なアクション!

④ 広がる

家族や学校、地域にも広げて、みんなで資源の循環を育てます。



ポイント

ひとりの行動が、大きな輪となって社会を変えていきます。

楽しく探して、気づき、つなげる。行動変容につながる仕掛けです。

こんな効果が期待できます!



ごみの減量

可燃ごみの削減につながります。



資源循環の推進

紙資源を大切に使い、循環型社会を実現します。



環境意識の向上

気づきと学びが、環境にやさしい心を育てます。



地域・社会との連携

学校・家庭・地域がつながり、行動の輪を広げます。

一人ひとりの「探してみよう」が、未来を変える力になります。

雑がみさまの4つのものがたり 気づいた今が、はじめどき

① 🔥 見つける

燃やされちゃうの…
かなしいよお…
まだ使えるのに…



② 👁️ 気づく

これ、なに?
「雑がみ」っていう、リサイクルできる紙なんだよ!



たとえば、こんな紙!

- お菓子の箱
- プリントやコピー用紙
- 紙の芯
- 包装紙・封筒
- メモ用紙・ノート
- カタログ・パンフレット

③ ♻️ つなぐ

見つけたら、集めよう!

その紙が、また新しいものに生まれ変わるよ!



④ 🏠 帰ってくる

おうちに帰ってきて、よかったね!

リサイクルで生まれ変わるよ!



楽しく探して、気づき、つなげる。それが、私たちの未来を守る力になります。

※新聞・雑誌・段ボール・紙バック以外の紙類を、「雑がみ」と表現しています。

名称や対象品目、分別・排出方法は自治体によって異なりますので、お住まいの自治体のルールに従ってください。

実施報告

こども霞が関見学デー



実施概要

実施日	2026年7月29日(水)・30日(木)
実施場所	各府省庁
ご協力	こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
概要	各府省庁等は、子供たちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと等を目的に「こども霞が関見学デー」を開催しました。環境省のプログラムの一つとして、こどもエコクラブ全国事務局と連携し、雑がみの分別を楽しく学べる体験型プログラム「ザッツ・雑がみ」を実施しました。

環境広場さっぽろ2026



実施概要

実施日	2026年8月1日(土)・2日(日)
実施場所	大和ハウス プレミストドーム
ご協力	札幌市
概要	札幌市と協力してブース運営を行い、古紙の分別体験を通じて「雑がみ」のリサイクルを呼びかける啓発活動を実施しました。今回の出展は、札幌市と古紙センターが締結している「雑がみリサイクル促進に向けた啓発事業の実施に関する覚書」に基づく連携の一環で、多くの人に楽しみながら雑がみの分別について学んでいただきました。

実施報告

SAGAものスゴフェスタ



実施概要

実施日	2026年8月22日(土)・23日(日)
実施場所	SAGAアリーナ
ご協力	古紙再生促進センター九州地区委員会・株式会社HiBee
概要	会場では、家族連れを中心とした来場者に、古紙分別ゲームを通じて古紙の分別を体験していただきました。身近な紙がどのように分別され、資源としてリサイクルされるのかを、楽しみながら学べる内容としました。当センターのブースにも約1,500名が参加し、身近な紙の分別について考える機会となりました。

第37回 廃棄物資源循環学会 研究発表会・市民展示



実施概要

実施日

9月14日(月)～17日(木)

実施場所

札幌市地下歩行空間(チカホ)・北海道大学

ご協力

古紙再生促進センター北海道地区委員会

概要

9月14日・15日は札幌市地下歩行空間(チカホ)で開催されたイベント、9月16日・17日は北海道大学で開催された研究発表会および市民展示に参加し、ポスター展示や啓発資材の配布を行いました。市民から研究者・専門家まで、異なる立場の方々と交流することで、多様なステークホルダーとの新たな接点をつくる機会となりました。

さが 雑がみさまを探せ! 事例集

活動報告

センター日誌

雑がみさまを探せ! 事例集

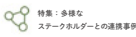
— 行動実習と連携で進める資源化の実践 —



雑がみを取り巻く
諸課題



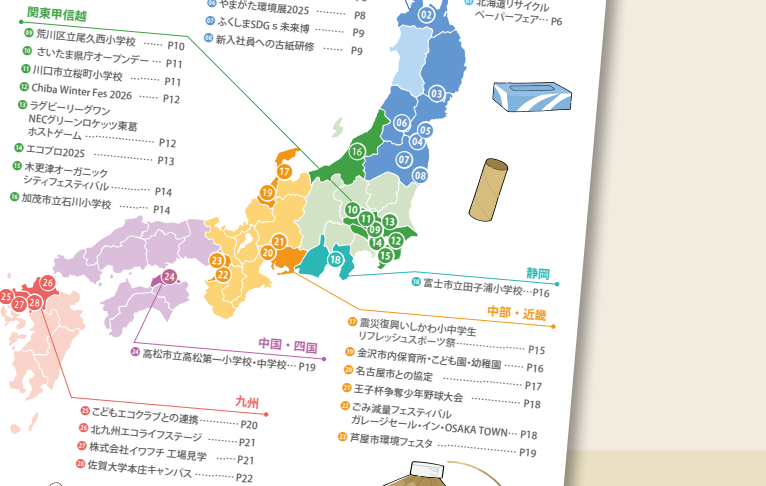
行動実習を含む
全国の実践事例



特徴: 多様な
ステークホルダーとの連携事例

雑がみさまを探せ! 全国各地で実施

全国70か所以上、
2万人に
啓発を実施



01 北海道 リサイクルペーパーフェア



「雑がみ」、ちゃんと分別できていますか?
——そんな問いかけから始まったリサイクルペーパーフェア。雑がみ回収促進企業「雑がみさまを探せ!」の協力を得て、道庁主催のイベントとして、道民の関心を高め、雑がみの回収率を向上させることを目的として開催されました。

2025年9月20日(土)
10:00～15:00
旭川市立旭川第一小学校
旭川市立旭川第一中学校
旭川市立旭川第三中学校
旭川市立旭川第四中学校
旭川市立旭川第五中学校
旭川市立旭川第六中学校
旭川市立旭川第七中学校
旭川市立旭川第八中学校
旭川市立旭川第九中学校
旭川市立旭川第十中学校

02 あおもり環境フェスタ



イベントを楽しみながら、
雑がみリサイクルの展示や「雑がみさまを探せ!」の啓発活動を通じて、
市民の関心を高め、雑がみの回収率を向上させることを目的として開催されました。

2025年10月18日(土)・19日(日)
青森県立青森市立青森第一中学校
青森県立青森市立青森第二中学校
青森県立青森市立青森第三中学校
青森県立青森市立青森第四中学校
青森県立青森市立青森第五中学校
青森県立青森市立青森第六中学校
青森県立青森市立青森第七中学校
青森県立青森市立青森第八中学校
青森県立青森市立青森第九中学校
青森県立青森市立青森第十中学校

14 エコプロ 2025



産学連携で、雑がみ分別に新たな視点を
エコプロ2025では、産学連携で、雑がみ分別に新たな視点を。AIアプリ「ECOOPON (エコポン)」を活用した分別方法やその意義を説明しました。専門的な視点と新しいツールを通じて啓発を進めたいと考えています。

2025年12月10日(水)～12月12日(金)
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト
東京ビッグサイト



大学と連携し、学生とともにコース講座を行いました。来場者への説明も学生が主体的に担い、質疑応答を通じて理解が深まっています。また、AIアプリを活用し、学生とともにコース講座を行いました。来場者への説明も学生が主体的に担い、質疑応答を通じて理解が深まっています。

エコプロ2025会場
協力: 産学連携女子大学

15 木更津オーガニックシティアピタル



来場者との対話を通じて、雑がみ分別をより身近に
木更津オーガニックシティアピタルでは、「雑がみさまを探せ!」の協力を得て、来場者との対話を通じて、雑がみ分別をより身近にすることを目的として開催されました。

2025年11月3日(月)
木更津市立木更津第一中学校
木更津市立木更津第二中学校
木更津市立木更津第三中学校
木更津市立木更津第四中学校
木更津市立木更津第五中学校
木更津市立木更津第六中学校
木更津市立木更津第七中学校
木更津市立木更津第八中学校
木更津市立木更津第九中学校
木更津市立木更津第十中学校

16 加茂市立石川小学校



学校と地域がつながり、回収の輪を広げる取り組み
石川小学校では、毎年3回の授業時間外に、来場者との対話を通じて、雑がみ分別をより身近にすることを目的として開催されました。

2025年7月・11月、2025年3月
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校
加茂市立石川小学校

古紙再生促進センターでは、「雑がみさまを探せ!」の活動実績をとりまとめた事例集を発行しています。右の二次元コードから確認することができますので、ぜひご覧ください。

事例集
はこちら



紙リサイクルセミナー

— 紙リサイクルを「知る」から「行動する」へ —

紙リサイクルへの理解を深め、一人ひとりの行動につなげるために、
私たちは何を、どう伝えていけばよいのでしょうか。

今年は、〈経済学の視点〉〈自治体の実践〉〈地域循環共生社会づくり〉という
3つの切り口から、そのヒントを探ります。

さらに、古紙再生促進センターからも、
理解と共感を行動につなげる新たな啓発の試みをご紹介します。
紙リサイクルのこれからをともに考える機会として、
ぜひご参加ください。

令和
8年 **10/16** 金
13:30-16:15

会場でのご参加をお待ちしています

参加料
無料

会場 星陵会館ホール
東京都千代田区永田町 2-16-2
定員 250名（先着順）
主催 公益財団法人 古紙再生促進センター
後援 経済産業省

お申し込み方法

会場参加希望の方は
こちらのWEBフォームから▶▶
お申し込みください。



申込締切 10月2日（金）

※ご来場の際にお名刺を1枚持参いただき受付にお渡しください。
当日の参加者確認に使用させていただきます。

動画配信特設ページ

YouTubeで配信します！



講師



学校法人近畿大学
経済学部経済学科 准教授

石村 雄一 氏

環境経済学を専門とし、廃棄物政策や廃プラスチック処理、食品ロス、一般・災害廃棄物の広域処理などを研究。経済学の視点から、廃棄物処理やリサイクルをめぐる社会的課題の研究に取り組む。



株式会社石川マテリアル
代表取締役社長

石川 喜一郎 氏

名古屋市の「ごみ非常事態宣言」後、愛知県古紙協同組合の専務理事として紙製容器包装の選別や集団資源回収の活性化に尽力。分別の広報活動や環境教育にも携わり、ごみ減量・資源化の推進に貢献する。



株式会社イワフチ
代表取締役

岩淵 慶太 氏

古紙をはじめ、PETボトルや廃プラスチックなど幅広い廃棄物の資源化事業を展開。地域との連携を大切にしながら、総合リサイクル事業を通じて、ごみの減量化と資源循環の推進に取り組む。

活動報告

センター日誌

令和8年度 センター日誌

7～9月分

月	日	会議名	主要議題
7月	8日(水)	北海道地区委員会	① 古紙共販集計表について ② 古紙需給動向について ③ 古紙消費実績と計画対比表について ④ 令和8年7月～12月古紙消費計画について ⑤ 北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥ 古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦ 情報交換 ⑧ その他 ・令和8年度集団回収感謝状贈呈式について ・第3回地区委員会の開催地について ・その他 (わくわく環境未来フェスについて)
	9日(木)	九州地区委員会 (Web会議システム併用)	① 令和8年6月～7月の九州地区古紙需給状況及び品質について ② 今後の事業等の開催予定 ・出前授業について 6月8日(月) 佐賀県武雄市立御船ヶ丘小学校 6月26日(金) 佐賀県小城市立桜岡小学校 ・SAGAものスゴフェスタ12 8月22日・23日 SAGAアリーナ(佐賀県) ③ その他
	14日(火)	第1回国際委員会 (Web会議システム併用)	① 委員長および副委員長の選任について ② 古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ③ その他 ・雑誌がみさまを探索!啓発資料無料提供のご案内 ・名古屋市との協定締結および札幌市との連携覚書締結について ・パッケージトレンドトピックス(第4号) ・日本包装技術協会との共催セミナー開催報告 ・次回のスケジュール

月	日	会議名	主要議題
7月	17日(金)	中・四国地区委員会 (Web会議システム併用)	① 製紙メーカー生産状況・古紙入荷状況 ② 各地区の古紙市況報告 ③ 質疑応答 ④ 古紙品質について ⑤ 事務局からの説明 ・次回の中・四国地区委員会開催日程について
	第1回新潟分会		① 古紙需給報告 ② 令和8年度集団回収団体顕彰事業について ③ 新潟分会事業について ④ その他 ・雑誌がみから始まる資源循環の新たな可能性 —全原連50周年に向けた循環の進化と挑戦—
	22日(水)	近畿地区委員会	① 古紙の需給・市況動向について ② 今後の近畿地区委員会の開催予定
	24日(金)	東北地区委員会	① 業務委員会報告 ② 関東地区委員会報告 ③ 古紙の需給・市況動向について ④ センター本部からの連絡事項 ⑤ その他 ・集団回収感謝状交付式について(案) ・仙台エコフェスタ2026参加について ・秋の移動例会日程、場所について
	27日(月)	7月度常任理事会	① 紙リサイクルセミナーについて ② 最近のトピックス ・紙リサイクル出前授業の実績について ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026の募集開始について ・簡易法による輸出入に伴う梱包材(段ボール)量推定の推移 ③ 国債の保有状況について ④ 令和7年度第4回業務委員会議事次第について ⑤ その他 ・今後のスケジュールについて
	第4回業務委員会 (Web会議システム併用)		① 各地区の古紙の需給・市況動向について ② 2026年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③ 紙リサイクルセミナーについて ④ 令和8年度自治体の新人廃棄物担当者向け研修 ⑤ パッケージトレンドトピックス ⑥ その他 ・今後の業務委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
7月	30日(木)	関東地区委員会	<p>①古紙需給動向(古紙問屋)</p> <p>②古紙及び製品需給動向(製紙会社)</p> <p>③古紙品質トラブル報告</p> <p>④2026年4月～6月消費実績、2026年7～12月消費計画</p> <p>⑤その他</p> <p>○令和8年度「紙リサイクルセミナー」 開催日時: 10月16日(金) 13:30～16:30 場 所: 星陵会館ホール 講 演 者: 学校法人近畿大学 経済学部経済学科 准教授 石村 雄一 株式会社石川マテリアル 代表取締役社長 石川 喜一郎 株式会社イワフチ 代表取締役社長 岩淵 慶太</p> <p>○紙リサイクル研修会 令和8年度自治体の新人廃棄物担当者向け研修 2027年3月末まで録画配信中 プログラム(約100分間) ・「紙リサイクルの基礎知識」 当センター業務部業務課担当課長 濱野彰吾 ・質疑応答</p> <p>○関係団体主催の会合等に出席(報告) 7月 7日(火) 日本製紙連合会 「第4回 プロジェクト-P推進協議会」 7月 9日(木) 全国製紙原料商工組合連合会</p> <p>○紙リサイクル出前授業(予定) 8月 4日(火) 世田谷区松原まちづくりセンター 8月27日(木) 川口市立東領家小学校 9月 9日(水) 横浜市立一本松小学校 9月29日(火) 足立区立弥生小学校 10月 6日(火) 千葉市立小谷小学校 10月15日(木) 足立区立桜花小学校</p> <p>○今後の関東地区委員会の開催予定</p>

月	日	会議名	主要議題
8月	20日(木)	中部地区委員会 東海分会	<p>①古紙需給市況動向</p> <p>②令和8年度集団回収実施団体への感謝状贈呈について</p> <p>③出前授業中間報告について</p> <p>④「雑がみさまをさがせ」について</p> <p>⑤その他 ・紙リサイクルコンテスト2026 ・名古屋市施設見学会 ・今後の中部地区委員会東海分会の開催予定</p>
	25日(火)	静岡地区委員会	<p>①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告</p> <p>②事務局からの連絡事項 ○広報事業について ・紙リサイクル出前授業の今後の計画 ・雑がみ分別・回収啓発促進活動 ・ものづくり力交流フェア2027について ○地区事業について ③地区事業について ・10月16日・17日研修会について</p> <p>④その他 ・令和8年7月～12月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ・令和8年度紙リサイクルセミナーについて ・紙リサイクル研修会について ・集団回収感謝状贈呈について ・今後の静岡地区委員会の開催予定</p>

月	日	会議名	主要議題
9月	11日(金)	中・四国地区委員会	①製紙メーカー生産状況・古紙入荷状況 ②各地区の古紙市況報告 ③質疑応答 ④事務局からの説明
	16日(水)	関東地区委員会	①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④集団回収実施団体への感謝状贈呈について(新潟分会) ⑤その他 ○GOOD LIFEフェア2026出展 開催日時: 9月25日(金)～27日(日) 場 所: 東京ビッグサイト 西4ホール ブース番号:2E-71 ○令和8年度「紙リサイクルセミナー」 開催日時: 10月16日(金) 13:30～16:30 場 所: 星陵会館ホール 講 演 者: 学校法人近畿大学 経済学部経済学科 准教授 石村 雄一 株式会社石川マテリアル 代表取締役社長 石川 喜一朗 株式会社イワフチ 代表取締役 岩渕 慶太 ○紙リサイクル出前授業(予定) 9月29日(火) 足立区立弥生小学校 10月 6日(火) 千葉市立小谷小学校 10月 8日(木) 朝霞市立朝霞第一小学校 10月15日(木) 足立区立桜花小学校、 川越市立高階小学校 11月18日(水) 関東学院小学校 ○今後の関東地区委員会の開催予定

月	日	会議名	主要議題
9月	18日 (金)	北海道 地区 委員会	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③古紙消費実績と計画対比表について ④令和8年7月～12月古紙消費計画について ⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦情報交換 ⑧その他 ・各種イベント参加報告 ・その他
	29日 (火)	近畿地区 委員会	①古紙の需給・市況動向について ②今後の近畿地区委員会の開催予定
	30日 (水)	第28回 家庭紙 委員会 (Web会 議シス テム併用)	①古紙入荷・消費・在庫(2026年5月～7月) 古紙地域別入荷(同上) ②古紙の需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見通し ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ④その他 ・令和8年度「紙リサイクルセミナー」について(10月16日(金)開催) ・今後の家庭紙委員会の開催予定

編集後記

本号は今年度に実施した「雑がみさまを探せ!」の実績報告と事例集について紹介しました。本事業は、雑がみの認知度向上と分別習慣形成を目的として、雑がみ啓発袋を提供し、家庭や学校で実際に雑がみを集めていただく事業です。実際に雑がみを探して集めるという体験を通じて、一人ひとりの行動変更を目的とした取り組みです。様々なステークホルダーとの連携や環境フェア・イベントなどでの出展の様子を取りまとめましたので、ぜひご覧ください。

また、本号では10月に開催される紙リサイクルセミナーについても紹介しています。こちらも行動変容を軸に様々な観点から紙リサイクルを考え、全国各地で実施した事例の一部を紹介しておりますので、ご覧ください。

(武田)

地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本支社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0818	富士市末広20番地6 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	090 (9019) 2059	
九州	866-0896	八代市日置町320-2 1号棟101号室	0965 (37) 8217	0965 (37) 8218

会報

news
LETTER 第52巻第4号
2026年10月1日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター